

第5期 事業報告書

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

5期目まで、一貫し介護福祉職の人材「確保」・「育成」・「定着」に対し取り組んできた。

介護職の「育成」については、介護員養成研修（初任者研修・生活援助従事者研修）及び介護福祉士実務者研修、喀痰吸引等研修、出張研修、介護福祉士国家試験合格サポートなど多種多様な教育・学習支援、人材「確保」については、無料職業紹介や石川県委託職業訓練（実務者研修・介護予防運動科）、「定着」として、修了生カフェの開催や個別相談などを実施する。

その他様々な介護関連機関のニーズに応じ、業務を受託し実施。介護福祉士実務者研修、介護技能実習評価試験などを受託し実施した。

経営状況としては、各期により業務受託や研修室の新規開設などにより多少ムラがあるが、今期も利益は上がっている。

経営の主軸となる研修事業のうち、主な3つの研修については、受講者数がやや減少しているが、新規業務受託収入などにより補填できている。

また講師については既存の受け持ち科目に加え、新規受け持ち科目を追加することにより、業務の幅を広げるとともに、業務効率化もさらに図れている。

研修部門主軸となる部門についての今後の見込は下記の通り予測される。

介護職員初任者研修は次年度金城大学より業務受託を行うため増加が予測される。また介護福祉士実務者研修については専門実践教育訓練給付金の対象講座として指定されたことより、ハローワークより受講料の最大70%支給を望む受講者の増加が見込まれる。